

第6回 観音寺市民会館管理運営検討委員会議事録【要約】	日時 平成25年10月22日(水)19:00~21:00
	場所 働く女性の家1階 第1講習室
出席者	委員8名(欠席3名)、事務局5名、事務局補2名
議題	(1)第5回観音寺市民会館管理運営検討委員会 会議録について (2)事業計画・管理運営について ・広報の考え方 ・施設提供(貸館事業)の基本的な考え方 (3)その他
<p>1. 委嘱状交付 委嘱状を交付。</p> <p>2. 開会 開会のあいさつ。</p> <p>3. 委員長あいさつ 委員長あいさつ。</p> <p>4. 議題</p> <p><u>(1)第5回観音寺市民会館管理運営検討委員会会議録について</u> 資料を元に会議録について説明。修正内容を確認の後、内容を承認。</p> <p><u>(2)事業計画・管理運営について</u> ・広報の考え方 資料を元に広報の考え方について説明。</p> <p>【委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Re:born. K(リボーンドットケー)ではFacebook(フェイスブック)を積極的に活用している。Facebook を利用している理由は、実名登録者が多いという点で他のソーシャル・ネットワーク・サービスに比べ信頼性が高いのではと考えたからだ。 ・ Ustream(ユーストリーム)というインターネット上で生放送動画や録画動画を配信・共有できるサービスを利用し、毎月2回水曜日20時頃から観音寺商店街の情報を発信している。その他にも、観音寺の街歩きグループがYouTube(ユーチューブ) というインターネット上で録画動画を配信・共有できるサービスを利用している。また、最近では香川大学経済学部のゼミや東京の大学のゼミから問い合わせがある。 ・ ブログに関しては商店街全体としてではなく個人で自由にやってもらっている。 <p>【事務局意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ そういった様々な情報発信ツールを活用していくことは有効だ。 <p>【委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ただ、商店主でも若者と高齢者とは温度差があるのも事実だ。現状ではファックスのほうがよく使われている。パソコンやスマートフォンを使ってインターネットを活用できる世代とそうでない世代がはっきりしている。インターネットを利用した広報活動は今後も重要だとは思うが、それにプラスして紙媒体での広報活動も必要だ。 <p>【事務局質問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校に対するアプローチに関する意見がいくつかあったが、これらに関して何かご意見を頂きたい。 <p>【委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校には様々な場所からチラシやポスターが届き情報が集まって来る。その中で、丸亀市民会館は郵送ではなく担当者の方が直接学校に届けにいらっしゃることがある。このような場合、企画の趣旨や内容といった情報が直接伺え、生徒に伝えることのできる情報量が全く異なってくる。 <p>【委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 送られてきたチラシやポスターを掲示するだけの場合もあれば、増刷して教室に掲示したり配布したりするものもある。これらは各専門分野の先生に相談をして判断することが多い。情報が多すぎても生徒が戸惑ってしまう。また、学生割引などがある場合は声をかけ 	

やすい。

【事務局意見】

- ・フットワークの軽い人材がいるということはとても重要であり、情報を伝えたい相手と直接対峙して話をするのが大切だという意見は他の施設においてもよく耳にする。

【事務局質問】

- ・隣接地域との連携に関してご意見を頂きたい。

【委員意見】

- ・隣接している地域との相互理解があれば、お互いに訪問し合うきっかけになるのではないかと。近隣地域と連携することで情報も蓄積され、それを元に新たな活動が生まれることが期待される。

【事務局質問】

- ・旧市民会館では隣接地域との連携は行われていたのか。

【事務局回答】

- ・旧市民会館は貸館のみで基本的に受け身の体制であったため自ら発信するという事はなかった。新市民会館では広報活動に力を入れていかなければならないと考える。今後は一方的に情報を発信するだけでなく、逆に「こういった事業やイベントはないですか？」という質問を頂けるような信頼関係を築いていければ、広報活動はより充実したものになると考えている。

【事務局質問】

- ・地域の文化団体や個人が加盟している団体に知らせてもらうという意見もあるが、地域の団体の存在や活動を把握し連携を取っていくということだろうか。

【委員意見】

- ・そういった人間関係を築くことが重要なのではと感じる。そうすると、自身も行ってみようと思うし他の人にも勧めてみようという気持ちにもなる。

【事務局質問】

- ・普段皆さんが文化活動の宣伝活動をする場合はどうしているのか。

【委員意見】

- ・こちらからチラシなどを送ることが多い。特に市の後援がある場合は公共施設で掲示してくれる可能性が高い。かなりの数になるが観音寺の西半分の公民館や公立学校にお送りしている。まずは知ってもらうことが大切だと考え10年以上続けている。

【事務局質問】

- ・広報ツールのひとつとしてホームページがある。より便利に利用するために、望ましいと考える情報はあろうか。

【委員意見】

- ・イベントのポスターやチラシのPDFがダウンロードできることはもちろんだが、周辺の駐車場情報もあるとよい。

【事務局意見】

- ・近隣飲食店マップを作製している施設もある。そのマップを提携している店舗に持って行くと割引がうけられるというサービスを行っている例もある。

【委員意見】

- ・市外の音楽仲間から「観音寺に音楽を聞きに行くのだがどこでご飯が食べられるか」という問い合わせがある。観音寺の中心街は道も複雑なため市民会館でそういったマップや割引チケットがもらえるのであれば市外から来た方にとっても地元店舗にとってもよいと思う。

【委員意見】

- ・観音寺は駅を中心に放射状になっているので迷いやすい。地図や飲食店情報は是非作らな

ければと思う。

【委員意見】

・新市民会館は大きな道路から見えにくい位置にあるのでそういった情報は大切だ。

【委員意見】

・観音寺駅から近くなるので駅を起点に案内すると解りやすくなるだろう。

【委員意見】

・三豊地区は「ここは〇〇町です」というような表示が少ない。市外から来た人のためにも整備して欲しい。

【委員質問】

・インターネット上で空室状況を確認できたり申し込みができたりすると便利だとは思いますが、そこまでのホームページを作成することはできるのだろうか。

【事務局回答】

・他の施設をみるとインターネット上で予約状況の確認が出来るところは多いようだが、申し込みができるところは少ない。最低限、予約状況確認が出来るところまでは目指したいと考えている。当然、申込用紙や平面図がダウンロードできるようにしたい。

【委員質問】

・ホームページで会員登録をし、自分の好みのジャンルの情報を送ってもらうというようなサービスの例はあるだろうか。

【事務局回答】

・公共施設でそこまでのシステムを構築しているところは少ないだろう。しかし民間においては、自分が興味のあるジャンルの情報のみを送ってもらうようなシステムがある。予約システムに関しては民間業者からパッケージ購入することも可能だ。

【委員意見】

・ホームページで友の会やサポーター組織への申し込みができるようにすることは可能な気がする。ただ、それを作るか、作ったとしてどう管理していくかが課題になるだろう。

【委員質問】

・他の施設にも友の会やサポーター組織があると思うが、それは有料なのか無料なのか。

【事務局回答】

・ほとんどが無料。民間であれば有料のところもある。

【委員意見】

・新市民会館は大きな道路に面していないので、道路から見える景色を掲載しなければ運転している人には解りにくいかもしれない。

【事務局意見】

・旧市民会館の案内看板の撤去を県に依頼している。今後、新市民会館の案内看板の設置箇所や大きさについて検討していく。

【委員意見】

・文化施設はそこに到着するまでの雰囲気も大切だと思う。駅から新市民会館へ向かう行程に高揚感を得るような仕掛けがあるとよい。

(2)事業計画・管理運営について ・施設提供(貸館事業)の基本的な考え方

資料を元に休館日について説明。

【委員意見】

・利用する立場であれば無休が嬉しいが運営面を考えると難しいのではないかと。

【事務局意見】

・月曜や火曜を休館日にしている施設があったのだが、土日が仕事で月曜や火曜がお休みと

という方が利用できないということで休館日を廃止したという例もあった。

【委員意見】

- ・私の団体は月曜日が練習日なのだが、公民館は月曜日が休みであるため、いつも借りている場所が抑えられないと練習場所がなくなってしまうという場合がある。

【委員意見】

- ・都会の年間稼働率が高い施設ならわかるが、それほど高くない地方の施設のホールで無休である必要性はあるのだろうか。

【委員意見】

- ・サンポート高松はカウントダウンイベントのため大晦日にもかかわらず開館していた。

【委員意見】

- ・開店休業という状態も辛い。図書館にも休館日があるように市民会館にも休館日があると思う。
- ・この地域はよほどのことがないかぎり、平日に何かを観に行くということは少ない。土曜や日曜の昼に事業があれば学校が休みなので親子連れが参加しやすい。公民館活動のような事業は勤め帰りに行けるように平日の夕方にあるとよいのではないか。

【事務局意見】

- ・これまで通り、週1回と年末年始に休館日を設けると考え方で整理することもできる。

【事務局質問】

- ・旧市民会館の休館日を火曜日とした理由はなんだったのか。

【事務局回答】

- ・具体的な理由は分からない。公民館や図書館は月曜休館であることが多いためそれを避けた可能性があるのではないかと思う。

【事務局意見】

- ・週1回休館日がないと職員のローテーションが難しく、人材が余分に必要になるという側面もある。

【委員意見】

- ・勤務体制の問題は運営によって変わってくるだろう。

【委員意見】

- ・休館日が設定されてもしかたがないと思う部分もある。

【委員意見】

- ・新市民会館の評価が何によって決まるかという議題の中で来館者数だということもあった。可能な限り開いてほしいという思いもある。

【委員意見】

- ・もし民間が運営するのであればある程度自由がきくのではないか。

【委員意見】

- ・民間が運営するとしても条例を遵守し運営することになる。

【委員意見】

- ・条例を遵守したうえで柔軟に対応してもらえることが望ましい。

資料を元に利用時間について説明。

【委員意見】

- ・マリンウェーブは大会などで午前8時に開けて欲しいとお願いすると開けてくれる。

【委員意見】

- ・旧市民会館も30分程度は余裕をみてくれていた。

【事務局意見】

- ・旧市民会館でも1~2時間早く開けたいという要望には可能な限り応えてきた。また、駐車場の利用時間に関しても同じように対応してきた。必要性が認められれば新市民会館においても問題なく対応できると思う。

【委員意見】

- ・利用時間も条例で定めなければならないだろうが、事業によって柔軟に対応していただければ利用者としてはありがたい。

【事務局意見】

- ・利用時間は定めるが利用者との関係性を踏まえ柔軟な対応が望まれるということだろう。また、今後指定管理者を採用するのであればこの点を考慮して募集をかけるという方法も考えられる。

資料を元に貸館区分について説明。

【委員意見】

- ・時間単位で設定してもらえるとありがたい。例えば、事前にステージ上で少しだけ試したいことがあるので2時間だけ使いたいという時に便利だ。

【委員意見】

- ・リハーサルや練習で利用する場合は時間単位での設定がありがたいと思う。ただ、そういった利用をしたい人がどれだけいるかにもよる。

【事務局意見】

- ・あまりにも細かい時間区分にしまうと、音響反射板のような設置に時間がかかる装置を準備しなければならない場合に苦勞することになる可能性があるので注意が必要だ。また、1時間のみの利用のために一日抑えられてしまう可能性もある。

【委員意見】

- ・学割も設定して欲しい。

【事務局意見】

- ・ホールの他にも多目的ホール、会議室、練習室などがあるがこれらは時間単位の貸出を検討した方がよいだろう。

【事務局質問】

- ・共通ロビーなどの貸出も検討しているのか。

【事務局回答】

- ・ロビーも有効的に活用したいという構想はあるが現段階では未定だ。

【事務局質問】

- ・展示も充実させたいという意見があったが、ロビーには展示機能はあるのか。

【事務局回答】

- ・それに関しても今後検討していく予定だ。

【委員意見】

- ・建設検討委員会において、イベントで駐車場を利用したい場合どのような対応をとるのかという議題が出た。イベントで駐車場を利用しているとホールを利用しに来た方が駐車出来なくなる可能性がある。

【事務局意見】

- ・旧市民会館には大ホール専用の駐車場があり、そこを利用する場合は大ホールの料金をパーセンテージを変えて頂いていた。
- ・新市民会館の駐車場をどのように位置づけるかは現段階でははっきりしていないため、今後検討していかなければならない。

(3)その他

【事務局説明】

- ・次回は本日の続きで施設提供について議論をしたい。

【事務局説明】

・第7回検討委員会については、11月19日(火)19時から働く女性の家で開催を予定している。

5. 閉会

閉会のあいさつ。

以上